

逗子の景観まちづくり

瓦版 第七十八号

二〇二三年二月十五日 次号は四月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.lg.jp

『沼間 堀の内』

文・絵 桐ヶ谷 まり

四十一年前、沼間に嫁いで来たその日、夫となつた人から、ほら、うちは川に囲まれてるから屋号が堀の内なんだよ、と教わつた。

私は堀の内が気に入って、あの時からずっと川の流れの内側に、自らすすんで閉じ込められていたような気がする。



「かわせみ」 絵 兼子真知子

ケヤキ、桜、栗、梅、椿、竹林、四季それぞれに咲く花、狸の親子、螢の舞う夕べ、かわせみの従来、カルガモ、コサギ、青サギ。川面に届かんばかりに枝を広げた桜の花は散り始めてからが本番と、酌み交わす日本酒は超辛口。筍堀りに招いた知人は数知れず。栗拾いは、友人と子供クラブにお任せし、ゆずの収穫はリスとの競争。

夫はいつも庭にいて、私はいつも台所で料理、それで十分楽しくて、ここで、三人の子を育て、鳥や犬を飼い、五冊の本を書き、夫の闘病を支えて、そしておくれた。

やがて、堀の内を多くの方に知っていたきたくなつて、もし病気になるっても治療はしないで死ぬ、と覚悟を決め、全財産をかけて、源義朝の沼浜城址を整備。かわせみの家、と名付けた私設郷土資料館に、村長を務めた先祖が遺した器や文書、かみしも等を展示、また、ローズガーデンを設計して、ピアノの調べにのせてバラの揺れる桐ヶ谷歴史庭園を作った。

火水木の御来園をお待ちしております。



「かわせみの家」桐ヶ谷歴史庭園

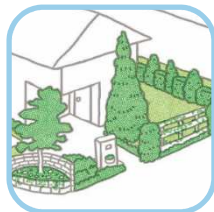


「まちなみデザイン逗子」実践認定制度を継続します

認定事例はこちらから →



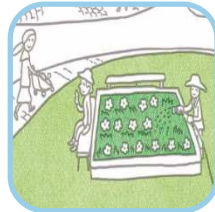
逗子市では、2020年に景観形成に寄与している建築物、工作物、外構、広告物、活動（美化活動など）について一般募集を行い、「まちなみデザイン逗子」の実践スポットとして27件（表彰含む）を認定しました。今後も継続して認定制度を実施することで、豊かな自然と調和した潤いのある景観の形成を図ることを目的としています。



建築物・外構(緑化)



店舗・広告物



活動（美化活動）

応募方法や詳細はHPまで



※自薦のみの受付となります。



認定箇所のご紹介

桐ヶ谷歴史庭園

－かわせみの家－

源義朝（源頼朝の父）の沼浜城跡



◆認定のポイント

田越川の支流に囲まれた広大な敷地に計画された歴史庭園は、よく手入れされていて、美しい山並みとも調和しています。園内にある歴史資料館とともに地域に開かれ、魅力的な憩いの場となっています。

【ローズガーデン】



約100本のバラとサクラやツバキなど四季折々を彩どる花が咲き誇る庭

数々の郷土資料や調度用品の展示があり、まちの歴史を知ることができます。

開園日時(※不定休)

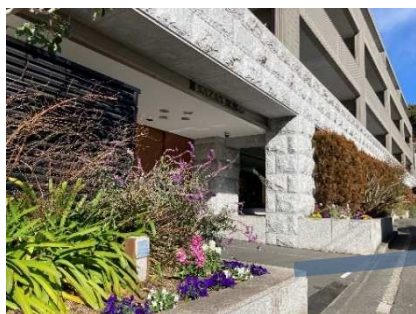
火水木 13:30~16:30

住所：沼間2-23-24



【2023年2月認定】

「まちなみデザイン逗子」認定プレート掲載事例



【小坪1丁目 サザン披露山】

認定プレート



実践スポット認定箇所には、プレートを配布しています！

◆認定のポイント

【共同住宅外構の美化活動】

沿道景観の潤いをもたらすため、住民自ら草花の植樹・手入れをしています。

その取り組みがマンションだけでなく沿道家屋にも広がっています。